

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/10/10号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

ゴールド大きく上昇

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



先週もまた大きな動きの一週間となりました。先々週の英国のトリプル安をきっかけにドル高一辺倒の動きにストップがかかりましたが、その動きが今週半ばに向けて大きく拡がりました。ゴールドは1660ドル台で始まりましたが、大きく上昇、火曜日には1700ドルを超えて、それがさらなるショートカバーを誘い、一時1728ドルまで上昇、ほぼ一ヶ月ぶりの高値となりました。前週発表されたCFTCによるComexの投資家ポジションは128トンショートという約4年ぶりの大きなネットショートポジションでしたが、今週は一転して15.3トンのロングと、一週間で144トンものゴールドがComexでは買われたということになります。一週間で100ドルもの価格の上昇の直接的な原因はこのComexの投資家のショートカバーだと言えるでしょう。株価もまた大きく戻しました。NYダウは28700ドル台から一時30400ドル台まで上昇、長期金利は4%台から一時3.5%台まで急落、ドルに一極集中していた資金が、その他の資産への逆流となりました。ドル高を要因とした世界の経済の不調のサインにマーケットが注目、FRBも予定通りの金利上げをできないのではないかと推測から、ここまでの流れの逆流となりました。しかしその流れも、相次ぐFRB関係者たちの金利上げは手を緩めるべきではない、という発言、そして好調な米国の経済指標で勢いはおさまり、金曜日の雇用統計もNFP25万人増というマーケットの予想を上回る26.3万人増という数字が出ました。これによりFRBの金利上げがやはり確実に行われるという読みからふたたびドル高、金利高、株安へとマーケットは動き、ゴールドは1700ドルを割り込んで終わりました。今週は13日木曜日にCPIが発表になります。それが年末までのゴールドの動きを決めそうです。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

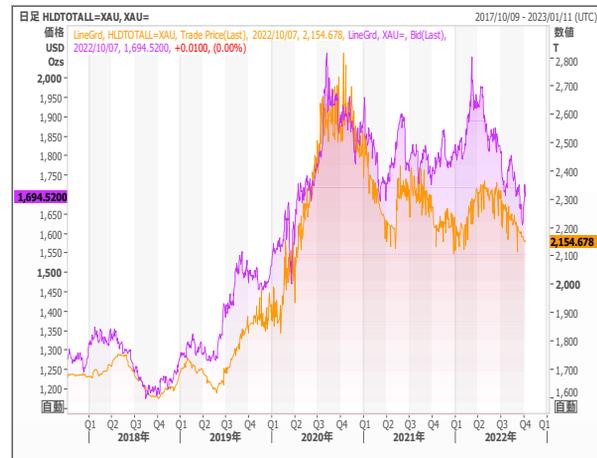
金ETF証拠金取引WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

「シルバー現物在庫急減 その1」

シルバーが一時17ドル台まで下落、金銀比価も95対1までシルバーの価値が下落する場面が9月のはじめに見られました。FRBのインフレに対する遅きに失した金利上げを急いだ結果、起こりうる不況に対して産業用のメタルとしての需要減の可能性をはやして売りが膨らんだのです。先物市場コメックスでは、投資家は3年ぶりに一時3800トンを超えるネットショート（売り越し）に回り、投資家の弱気がこのシルバー価格下落の最大の直接的原因であることは明らかです。しかしこの弱気は行き過ぎに見えます。シルバーの現状を俯瞰するとシルバーは今後大きく上値を伸ばす可能性が高いとみています。

ゴールドとシルバーのマーケットの中心にあるのはスポットLoco London と先物のCOMEXです。世界のシルバーの取引の大部分が最終的にはこの二つのマーケットのどちらかに集約されていると言っても言い過ぎではないでしょう。今、その両方のマーケットでの現物在庫が大きく減少しています。まずロコ・ロンドンでは8月末時点のシルバー在庫は28506トンとなっています。この数字は2016年7月以来の少ない数字。2021年11月には36410トンあったのでおよそ22%の減少です。Loco Londonにシルバーを保有している投資家は13のシルバーETFに加えてBullion VaultとGoldMoneyの二社の顧客投資家の保有している分、そしてそれ以外はクリアリングバンクの残高になります。9月8日時点で18438トンが上記の15社の保有であり、残りの10000トン前後が他のクリアリングバンクのものとなります。この部分が2021年11月には15000トンほどあったので、このクリアリングバンクの在庫が大きく減少したことがわかります。また世界最大の先物市場であるCOMEXでも過去2年以上、その倉庫在庫は減少を続けており、2021年には12400トンあったものが、現在は9945トンとこれまた20%以上の減少となっています。(次週へ続く)



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

